

いわや 岩屋ダムの防災操作について(速報)

(^{まぜがわ}馬瀬川(^{ひがしくつべ}東沓部地点)の水位を1.3m低減)

日本海に前線を伴った低気圧が急速に発達しながら東北東に進み、北日本付近を通過し、14日夜には千島近海に進んだ。この低気圧や前線に向かって、暖かい空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となりました。また、気温も高くなったことから雪解けにより、^{いわや}岩屋ダム流域から流れ込む水の量が増えたため、防災操作を実施しました。

^{いわや}岩屋ダムでは、貯水池へ流れ込む水の量が14日8時50分に洪水流量(毎秒300立方メートル)に達したため防災操作を開始し、9時01分に流入量が最大(毎秒308立方メートル)となり、毎秒226立方メートルをダムに貯留しました。

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダムの放流量	同時刻におけ るダム貯留量
^{いわや} 岩屋ダム	92mm	平成28年 2月14日 9時01分	毎秒308 m ³	毎秒 82m ³	毎秒226m ³

今回の防災操作により、ダム下流にある^{ひがしくつべ}東沓部地点(下流基準点)では、約1.3メートルの水位低下効果があったと推定されます。

^{ひがしくつべ} 東沓部地点※の水位が 最高水位となった時刻	同時刻における ^{ひがしくつべ} 東沓部地点の河川水 位	ダムがなかった場合 の同地点の最高水位	水位低減効果
平成28年2月14日 7時40分	2.2m	3.6m	1.3m

※ ^{ひがしくつべ}東沓部地点 ダム下流約9.3km、飛騨川本線合流前約7.5kmの地点

所在地 : ^{ひがしくつべ}下呂市金山町東沓部字前田会津 1458